

BankART Temporary

ヨコハマ創造都市センター



みなとみらい線馬車道駅に位置する歴史的建造物「旧第一銀行」を活用したアートスペース。2004年、横浜市の創造都市構想がスタートしたときにBankART1929が数年間活用していた建物だ。様々な変遷を経て、2020年度は、再びBankARTが運営することになった。この建物が位置する北仲地区は、以前とは大きく変わり、現在では、超高層マンション、ホテル、新市庁舎等が建ち並ぶ。短い期間だけど、BankARTの他の施設と同様、市民に開きながら、活発な活動を行っていきたい。

BankART Temporary OPEN!

一年限定のプログラム「BankART Temporary」が、2020年4月から静かに始まっている。新型コロナ感染の事情もあり、現段階では展覧会という体裁はとれないけど、雨風をしのげる街の中の通り道のような場所として、利用していただければと考えている。

竹と音のインスタレーションは松本秋則さんの作品。

暗くなったら建物内外に映し出される映像は高橋啓祐さんの作品だ。この古典建築に似合いそうなBankARTに関わりのある作家たちの生き物も配した。

密度と会話と勧誘を遠ざける都市の中で、どのようにアートが街いく人と会話を続けられるかのささやかな試みだ。

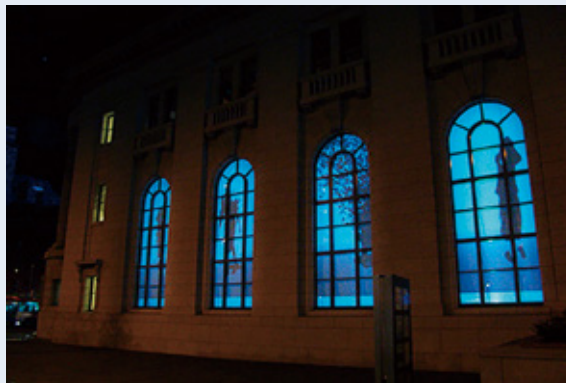
時間 | 11:00~19:00 (日曜定休)

松本秋則(まつもとあきのり) | 1982年より音の出る作品(サウンドオブジェ)の制作を始める。それらの作品を使用して様々な空間にサウンド・インスタレーションとして展示する。個展「Mede in China」(MOCA YINCHUAN、中国/2018)、第34回全国都市緑化はちおうじフェア(富士の森公園、八王子/2017)、ISSEY MIYAKE Botanical Delights (ISSEY MIYAKE 銀座店、他/2017)、個展「オトノフウケイ」(彫刻の森美術館、箱根/2015)、個展「sound sculptures」(Flinn Gallery Greenwich Library、USA/2015)など。

高橋啓祐(たかはしけいすけ) | 映像作家。美術館、ギャラリー、劇場、パブリックスペースなど多様な空間で作品を発表。映像インスタレーションとともにパフォーマンスも展開し、身体と映像の関係性を追求している。BankART1929や、イタリア、台湾のギャラリー等にて個展を開催。瀬戸内国際芸術祭(2016)や上海ビエンナーレ(2004)、ジャカルタビエンナーレ(2017)といった国際展への参加をはじめ、BankART Lifeや黄金町バザールなどにも参加し、横浜を拠点に国内外での制作、発表をおこなっている。2005年「第9回文化庁メディア芸術祭」審査委員会推薦優秀作品受賞など。



松本秋則「Bamboo Bank —緑陰銀行—」BankART1929 Yokohama / 2006



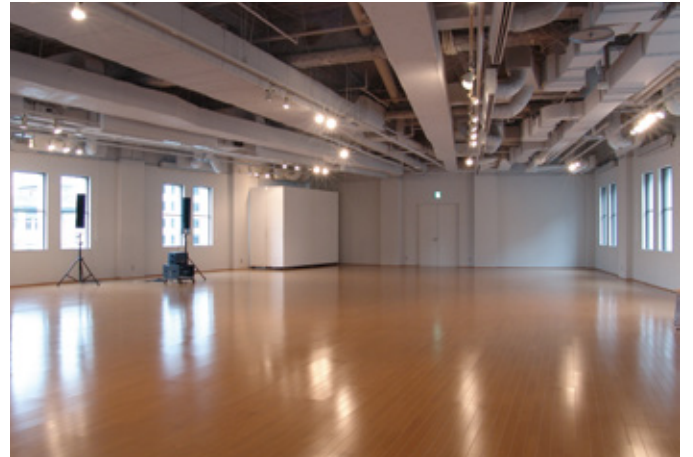
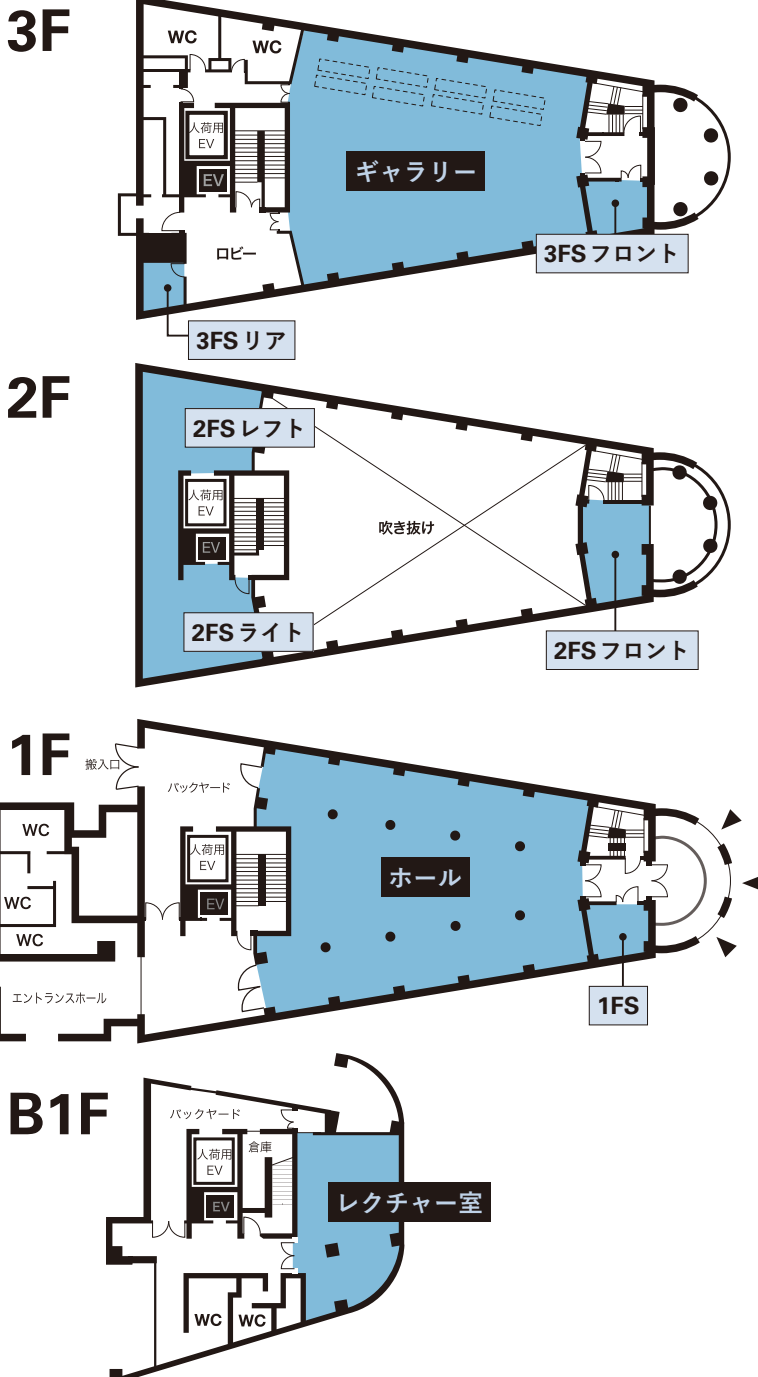
高橋啓祐「public=un+public」BankART1929 Yokohama / 2005

BankART Temporary

横浜創造都市センター



ホール | 床面積320m²、天井高7mのホールは美術・建築の展覧会や舞台芸術・音楽やレクチャーなど、様々なジャンルのイベントが可能です。



ギャラリー | 1Fホールとほぼ同じ面積を持つ天井高3.4mのフラットな多目的スペース。高さ2.8m、長さ3.6mの移動壁が8台あり、展示やイベントに臨機応変に対応できます。



旧第一銀行 | 1929年頃

アクセス | **BankART Temporary** (231-8315 横浜市中区本町6-50-1)

Tel: 045-663-2813 E-mail: temporary@bankart1929.com

□みなとみらい線 馬車道駅 1b出口直結

□JR・市営地下鉄線 桜木町駅 徒歩5分

□JR・市営地下鉄線 関内駅 徒歩7分

お問合せ | BankART1929 office

Tel: 045-663-2812 E-mail: info@bankart1929.com